

20天地第 608号
平成20年10月9日

国土交通省道路局長 様

天栄村長 兼 子 司



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙のとおり提出しますので、よろしくお願いいたします。

(事務担当 地域整備課 事業グループ 0248-82-2113)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県天栄村

・道路整備財源の確保について

道路特定財源が一般財源化されたとしても、地方にとって道路整備は必要不可欠のものであり、道路整備財源の確保、さらには地方へ重点的に配分していただきたい。

・公共交通機関の少ない地方の道路整備促進について

救急医療機関までの時間がかかり過ぎ、命をおとすケースもあることから、地方にとっては道路整備は生命を守るために必要不可欠のものである、このことから交通量を重視する計画とは別に、地方にとって「なくてはならない」道路の整備について促進する必要がある。

②-1 地域の現状と抱える課題

福島県天栄村

○現状 一般国道118号・294号は、茨城県、栃木県から、会津までの重要な路線であります。近年は、福島空港の開港や勢至堂トンネルの開通にともない、交通量が飛躍的に増大している状況にあります。 また、県道においても地域住民の生活環境と地域活性化の向上を図るうえで必要不可欠な路線であります。 村内の国道、県道は四季を通して年間利用客数80万人を数える那須甲子、羽鳥湖周辺の観光地と会津地方の観光地を結ぶ観光道路としての位置づけにもなっている。 しかしながら、一部の区間においては、幅員が狭いうえに屈曲が多く、また急峻で、大型車輛の増加により車輛の交差はもとより、道路の横断もままならず、歩行者の安全が脅かされております。さらに、冬期間の積雪時には事故が発生しやすい箇所であり、安全な通行に支障をきたしている状況にあります。	○課題 1. 国道118号鳳坂トンネル工事の早期着工 1. 国道294号白河市大信地内～沢邸区間の改良整備バイパス化 1. 県道白河羽鳥線真名子峠から国道118号までの整備促進 1. 県道矢吹天栄線のトンネル化 1. 村道会津若松天栄間の整備促進
---	--

②-2 地域の目指すべき将来像

福島県天栄村

本村の湯本地区は、大川羽鳥県立自然公園に指定されており、全国ダム湖百選に認定された羽鳥湖、1200年の歴史をもつところの湯本・二岐温泉それにスキー場、ゴルフ場があり、村としても観光事業の推進と観光誘客に対して様々な施策に努めているところです。また、四季を通して年間利用客数80万人を数える那須甲子、羽鳥湖周辺の観光地と会津地方の観光地を結ぶ観光道路としての位置づけになっている。更に今後、羽鳥湖高原が有する多様な資源を活用した交流・体験型観光の充実により、観光客受け入れ体制の整備を図る観点からも、羽鳥湖高原へのアクセスルートは首都圏からの観光客のほとんどは白河から主要道路である県道白河羽鳥線を経由します。しかし、県道白河羽鳥線の真名子峠は、幅員狭小、かつ、線形不良箇所の未整備区間があり車輛の通行に支障をきたしており、特に冬季交通の安全確保が図れない状況にありますので、早期に整備されるよう促進を要望します。

将来的には、那須甲子道路と羽鳥湖を結ぶ高規格道路で那須高原・甲子高原・羽鳥湖高原を単時間のルートで繋げたい、また、羽鳥湖と会津若松を高規格道路で結ぶと良い観光ルートとなるので是非実現したい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福島県天栄村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
観光地域の活性化	那須甲子道路と羽鳥湖及び羽鳥湖と猪苗代湖を結ぶ高規格道路による観光道路の整備促進	那須町の年間観光客数は500万人となっている、その観光客を優れた自然環境・景観を有する甲子高原・羽鳥高原へさらには猪苗代湖へと都市圏の観光客を呼び込み、この地方の活性化を図る。	国直轄事業としての要望
安全安心な生活道路の確保	国道118号鳳坂峠のトンネル化	村を二分している峠のトンネル化により通勤範囲の拡大、救急医療機関への時間短縮などが図れる「命」にかかわる道路整備である。	国直轄事業としての要望